

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	体表解剖学Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年	学期	前期	教室名	903教室
担 当 教 員	辻 いづみ				
実務経験と その関連資格	理学療法士として一般病院、クリニックに勤務。医療安全管理学修士。認定理学療法士(学校教育)。				
《授業科目における学習内容》					
骨模型や実際の体表に触れることで、骨や筋の名前や形状を学ぶ。 また、解剖学のイラストや写真を見て、より骨や筋の形状のイメージを深める。 さらに、実際に体を動かしながら、筋の起始と停止や作用を学ぶ。					
《成績評価の方法と基準》					
小テスト:40% 定期試験:40% 出欠・平常点:20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢、下肢・体幹 プロメテウス解剖学 コアアトラス 第4版					
《授業外における学習方法》					
教科書の写真やイラスト、骨模型をよく見ながら、骨や筋の形状をイメージできるようにする。筋の起始・停止も言葉でだけでなく、上記の教材を見ながら覚え、作用を体を動かしたりイメージしながら覚える。					
《履修に当たっての留意点》					
理学療法士として、骨と筋の触察が出来なければ正確な評価や治療ができないため、体表解剖学は大変重要となる。 評価・治療が可能なことを実感しながら授業に取り組んでもらいたい。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	体表解剖学・触察の重要性とその意味を述べることができる。	教科書 配布資料 バラ骨・骨模型	復習:なぜ触察をするのか言えるようにする。	
	各コマにおける授業予定	授業概要説明、触察についての説明、触察するための準備			
第2回	授業を通じての到達目標	人体の骨の名称を覚える。	教科書 配布資料 バラ骨・骨模型	復習:骨の名称をすべて書けるようにする。	
	各コマにおける授業予定	バラ骨を用いて、人体の骨模型の名称を覚える。			
第3回	授業を通じての到達目標	人体の骨の部分名称を覚える:上肢	教科書 配布資料 バラ骨・骨模型	復習:提示した骨の部分名称をすべて書けるようにする。	
	各コマにおける授業予定	バラ骨を用いて、人体の骨模型を正しい位置に並べる。 突起、結節、関節窩などの名称を理解し覚える。			
第4回	授業を通じての到達目標	人体の骨の部分名称を覚える:下肢	教科書 配布資料 バラ骨・骨模型	復習:提示した骨の部分名称をすべて書けるようにする。	
	各コマにおける授業予定	バラ骨を用いて、人体の骨模型を正しい位置に並べる。 突起、結節、関節窩などの名称を理解し覚える。			
第5回	授業を通じての到達目標	人体の骨の部分名称を覚える:体幹	教科書 配布資料 バラ骨・骨模型	復習:提示した骨の部分名称をすべて書けるようにする。	
	各コマにおける授業予定	バラ骨を用いて、人体の骨模型を正しい位置に並べる。 突起、結節、関節窩などの名称を理解し覚える。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	人体の関節の名称・形状を覚える: 上肢	教科書 配布資料 バラ骨・骨模型	復習: 提示した関節の名称・形状・構成する骨の名称をすべて書けるようにする。
	各コマにおける授業予定	バラ骨を用いて、人体の骨模型を正しい位置に並べる。 関節を構成する骨・関節の名称・形状を理解し覚える。		
第 7 回	授業を通じての到達目標	人体の関節の名称・形状を覚える: 下肢	教科書 配布資料 バラ骨・骨模型	復習: 提示した関節の名称・形状・構成する骨の名称をすべて書けるようにする。
	各コマにおける授業予定	バラ骨を用いて、人体の骨模型を正しい位置に並べる。 関節を構成する骨・関節の名称・形状を理解し覚える。		
第 8 回	授業を通じての到達目標	人体の関節の名称・形状を覚える: 体幹	教科書 配布資料 バラ骨・骨模型	復習: 提示した関節の名称・形状・構成する骨の名称をすべて書けるようにする。
	各コマにおける授業予定	バラ骨を用いて、人体の骨模型を正しい位置に並べる。 関節を構成する骨・関節の名称・形状を理解し覚える。		
第 9 回	授業を通じての到達目標	肩関節を動かす筋の名称を覚える。	教科書 配布資料 骨模型	復習: 提示した筋の名称と形を覚え、書き出すことができるようにする。
	各コマにおける授業予定	筋の位置を確認しながら、筋の名称と形状を覚える。		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	肘関節を動かす筋の名称を覚える。	教科書 配布資料 骨模型	復習: 提示した筋の名称と形を覚え、書き出すことができるようにする。
	各コマにおける授業予定	筋の位置を確認しながら、筋の名称と形状を覚える。		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	手関節を動かす筋の名称を覚える。	教科書 配布資料 骨模型	復習: 提示した筋の名称と形を覚え、書き出すことができるようにする。
	各コマにおける授業予定	筋の位置を確認しながら、筋の名称と形状を覚える。		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	股関節を動かす筋の名称を覚える。	教科書 配布資料 骨模型	復習: 提示した筋の名称と形を覚え、書き出すことができるようにする。
	各コマにおける授業予定	筋の位置を確認しながら、筋の名称と形状を覚える。		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	膝関節・足関節を動かす筋の名称を覚える。	教科書 配布資料 骨模型	復習: 提示した筋の名称と形を覚え、書き出すことができるようにする。
	各コマにおける授業予定	筋の位置を確認しながら、筋の名称と形状を覚える。		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	肩甲骨・体幹を動かす筋の名称を覚える。	教科書 配布資料 骨模型	復習: 提示した筋の名称と形を覚え、書き出すことができるようにする。
	各コマにおける授業予定	筋の位置を確認しながら、筋の名称と形状を覚える。		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	全ての筋の名称を言えるようになる。	教科書 配布資料 骨模型	復習: 提示した筋の名称と形を覚え、書き出すことができるようにする。
	各コマにおける授業予定	2人一組ですべての筋の名称と位置を言い合う。 全員が筋の名称と位置を言えるようになる。		